

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について

鹿角市教育委員会

I 実施の状況

1. 調査の目的

- (1) 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することにより、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 各教育委員会、学校等が、(1)及び(2)の取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 実施対象学年…小学校第6学年、中学校第3学年

3. 調査の内容

- (1) 教科に関する調査
 - 国語A、算数・数学A 主として「知識」に関する問題
 - 国語B、算数・数学B 主として「活用」に関する問題
 - 理科 主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4. 実施期日…平成30年4月17日(火)

II 教科に関する調査の結果

1 教科別平均正答率について

小学6年生		国語A (12問)	国語B (8問)	算数A (14問)	算数B (10問)	理科 (16問)	平均
全国		70.7	54.7	63.5	51.5	60.3	60.1
県	平均	77.0	61.0	67.0	57.0	66.0	65.6
	全国比	+7.7	+6.3	+3.5	+5.5	+5.7	+5.5
市	平均	77.0	60.0	65.0	55.0	64.0	64.2
	全国比	+7.7	+6.2	+1.5	+3.5	+3.7	+4.1
	全県比	0	-1.0	-2.0	-2.0	-2.0	-1.4

○概要

小学校では、例年同様全国平均正答率を上回っている。中学校では国語A、国語B、数学B、理科で全国の平均正答率を上回っている。数学Aが、2.1ポイント下回った。

また、小中ともにA問題とB問題の平均正答率の差が、国や県のものと同程度であることから、「知識」と「活用」の差が国や県と同程度であると言える。

●課題となる点

小学校では、算数A・B、理科で県の平均正答率を2.0ポイント下回っている。一方、中学校では、すべての教科で県の平均正答率を下回っている。特に、数学Aでは、6.0ポイントも下げるなど、「知識」の

中学3年生		国語A (32問)	国語B (9問)	数学A (36問)	数学B (14問)	理科 (27問)	平均
全国		76.1	61.2	66.1	46.9	66.1	63.3
県	平均	80.0	66.0	70.0	51.0	70.0	67.4
	全国比	+3.9	+4.8	+3.9	+4.1	+3.9	+4.1
市	平均	78.0	62.0	64.0	47.0	69.0	64.0
	全国比	+1.9	+0.8	-2.1	+0.1	+2.9	+0.7
	全県比	-2.0	-4.0	-6.0	-4.0	-1.0	-3.4

定着が求められる。

2 領域別の平均正答率について

小学校 国語A	鹿角市	秋田県	全国
話す・聞く	94.1	92.3	90.8
書くこと	78.5	78.4	73.8
読むこと	73.9	77.4	74.0
言語事項	75.4	74.7	67.0
国語B			
話す・聞く	70.6	69.3	64.6
書くこと	53.9	53.7	45.6
読むこと	55.1	59.7	50.8
言語事項			
小学校 算数A	鹿角市	秋田県	全国
数と計算	63.7	67.3	62.3
量と測定	73.3	76.0	72.7
図形	60.2	59.3	56.9
数量関係	61.3	61.9	60.1
算数B			
数と計算	62.8	63.5	58.4
量と測定	55.4	57.5	52.4
図形	66.1	67.8	59.9
数量関係	45.5	50.4	45.1
小学校 理科	鹿角市	秋田県	全国
物質	59.5	64.0	59.8
エネルギー	59.8	59.8	53.1
生命	79.3	79.4	73.6
地球	54.0	55.3	49.5

中学校 国語A	鹿角市	秋田県	全国
話す・聞く	77.1	80.5	75.2
書くこと	74.5	78.0	73.9
読むこと	78.4	80.3	76.7
言語事項	79.1	80.1	76.5
国語B			
話す・聞く	78.6	81.6	76.6
書くこと	32.9	34.0	31.3
読むこと	53.9	58.0	53.5
言語事項	53.1	54.4	49.2
中学校 数学A	鹿角市	秋田県	全国
数と式	66.3	74.5	71.1
図形	70.3	72.5	69.1
関数	51.5	59.5	55.5
資料の活用	60.4	66.4	63.5
数学B			
数と式	50.4	55.1	51.4
図形	46.5	50.3	46.7
関数	54.1	57.5	52.8
資料の活用	37.0	41.2	38.0
中学校 理科	鹿角市	秋田県	全国
物理的領域	75.6	77.8	74.4
化学的領域	69.0	70.5	65.0
生物的領域	79.3	78.1	72.5
地学的領域	59.4	60.1	57.8

○概要

小学校では、ほぼすべての領域で全国の平均正答率を上回っている。

中学校では、国語A・B、理科において、ほとんどの領域で全国の平均正答率を上回っている。

●課題

小学校の国語A・Bともに「読むこと」、算数A・Bともに「量と測定」、理科では「物質」の領域で県の平均正答率を3.0ポイント以上下回っている。

中学校の数学A・Bともに「数と式」・「資料の活用」の領域で全国平均正答率を下回っている。

Ⅲ 質問紙調査の結果

1 概要

小・中どちらも、肯定的な回答の割合が全国平均を上回っている項目が多く、児童生徒に望ましい生活習慣や学習習慣の定着が図られ、豊かな人間性等が育まれている状況を示す結果となって表れている。これらの成果は、家庭・地域・学校が一体となって醸成してきた教育環境の下で成し遂げられたものであると捉えている。

鹿角市教育委員会の施策である「夢創造 school 事業」や「ふるさと生き生きネットワーク事業」、「主体的・対話的で深い学び」の視点等と関連のある個別のデータについては以下のとおりである。

2 夢創造 school 事業との関わり

「将来の夢や目標を持っていますか」（当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる）
○小学校 89.3%（国 85.1%） ○中学校 74.0%（国 72.4%）

3 ふるさと生き生きネットワーク事業との関わり

- (1) 「今住んでいる地域の行事に参加している」割合が高い。
○小学校 83.0%（国 62.7%） ○中学校 59.9%（国 45.6%）
- (2) 「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」割合が高い。
○小学校 68.8%（国 36.1%） ○中学校 82.1%（国 51.8%）
- (3) 「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。」（同上）
○小学校 70.7%（国 63.8%） ○中学校 71.5%（国 59.3%）
- (4) 「地域や社会をよくするために、何をすべきか考えることがある。」（同上）
○小学校 60.5%（国 49.9%） ○中学校 54.6%（国 39.7%）
- (5) 「地域の大人（学校や塾・習い事の先生は除きます。）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか」（同上）
○小学校 55.6%（国 41.6%） ○中学校 25.1%（国 25.5%）

4 「主体的・対話的で深い学び」の視点による学習指導の改善に関する状況

- (1) 「授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」（「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」）
○小学校 70.7%（国 61.0%） ○中学校 59.9%（国 53.8%）
- (2) 「自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）
○小学校 82.4%（国 77.7%） ○中学校 83.5%（国 76.3%）

5 児童生徒の自己肯定感に関する状況

「自分にはよいところがあると思いますか」（「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」）

○小学校 82.9%（国 84.0%） ●中学校 78.7%（国 78.8%）

この項目については、中学生の数値が全国を下回っており、改善したい課題である。学校教育だけではなく家庭教育や社会教育等の様々な場面での体験活動や経験を通して育まれる面も少なくないことから、学校をはじめとする様々な関係機関や団体等と連携しながら取組を検討していく

6 その他

IV 今後の市教委の施策の方向性

これまで取り組んできている施策がおおむね良好な成果につながっている。ただ、県平均と比較すると、低い項目が多く見られることから、継続してきた以下の事業の詳細について見直しを図りながら、一層の充実を図っていく。

- ・児童生徒学力向上対策事業
- ・外国語指導充実事業
- ・ふるさと・キャリア教育推進事業
- ・情報教育環境整備事業
- ・ふるさと生き生きネットワーク事業
- ・かづの夢創造 school 事業

また、メディアの適切な利用に関することや、望ましい生活習慣づくり等は、各校で行われている教育活動と家庭との連携の成果であることから、引き続き、適切な指導や取組が為されるよう、お願いをしていく。